２０４人が健脚競う

●第48回河田杯マラソン・大館北秋田ロードレース大会

▲たくさんの市民が気持ちのいい汗を流しながら、健脚を競いました

陸上競技シーズンの幕開けを告げる第48回河田杯マラソン・大館北秋田ロードレース大会が４月17日、市内外から２０４人が参加して、市役所前をスタート・ゴール会場として開催されました。

同大会は、戦前から長距離ランナーとして全国的に知られた故・河田康雄さんの遺志を継承し、次代を担う選手の育成などを目的に開催されています。

開会式で、藤嶋健一大会会長は「河田さんに続き、皆さんが全県、全国に巣立ってほしい。自己ベストを更新できるよう頑張ってほしい」などとあいさつ。

この日は、気温が上がらず寒さを感じる天候となりましたが、選手らは、沿道から家族らの応援を受けて、気持ちのいい汗を流し、健脚を競い合いました。

活力と特色ある地域農業の確立へ

●雑穀と水耕栽培による農業経営及び雇用確立事業

▲委託契約書に署名捺印する熊谷代表と津谷市長

市と株式会社あきた雑穀村（熊谷良一代表取締役）との間で「雑穀と水耕栽培による農業経営及び雇用確立事業業務委託契約」の締結式が４月８日、中央公民館で行なわれました。

委託契約は、ふるさと雇用再生臨時対策基金事業として、農業の周年事業展開による人材確保と雑穀生産の産地づくり、競争力の強い商品開発を目的として、５人の新規雇用創出を図ります。

締結式では津谷市長と熊谷代表が、契約書に署名捺印。津谷市長は「熊谷社長のチャレンジ精神が、農業をはじめ、地域の活性化に寄与するものと期待します」などとあいさつ。

熊谷代表は「雑穀文化普及のため、種の無料配布をします」と抱負を述べました。

安全安心の心の輪を広げる運動を

●春の全国交通安全運動がスタート

▲交通安全宣言をする北林カヅ交通安全母の会森吉地区会長

春の全国交通安全運動が始まった４月６日、市内各所でも決起集会や交通安全パレードなどが行われ、市民に交通事故防止を訴えました。

決起集会は、市役所前と市役所森吉庁舎前で行われ、このうち森吉庁舎で行われた阿仁部総決起大会には、阿仁部交通安全協会員、交通安全母の会、交通指導隊などから約１５０人が参加しました。

式では、交通安全功労者らを表彰。佐藤登阿仁部交通安全協会長が、「子どもや高齢者が事故に遭わないよう、地域一丸となって交通事故防止に努めましょう」などと運動の徹底を求めました。

このあと、警察車両を先頭に交通安全パレードへ出発、沿道の市民に交通安全を呼びかけました。

市民総参加で、地域内をきれいに

●全市一斉・春のクリーンアップ

▲早朝から清掃活動で汗を流した、全市一斉春のクリーンアップ（写真：合川地区）

全市一斉春のクリーンアップ活動が４月18日早朝、市内全域で行われ、市民総参加で道路脇のゴミや側溝の泥上げなどを行いました。

全市クリーンアップは、毎年春と秋の２回恒例として行われているもので、春は冬期間に捨てられたごみが雪消えとともに目立つようになるこの時期、全市一斉に実施されています。

最近は、美化や環境保護への意識が高まってきてはいるものの、幹線道路沿いや人目につかない場所では空き缶やペットボトルなどが多く捨てられています。各地域とも地域住民総出で午前６時頃から約１時間ほど、道路沿いや河川の土手・公園などのゴミ拾いに汗を流し、美しいまちづくりに努めました。

「秋田内陸線沿線スケッチ」を発刊

●水彩画家の田村まさよしさん

▲原画を紹介しながら、津谷市長に画集の発刊を報告する田村まさよしさん

水彩画集「秋田内陸線沿線スケッチ」を発刊した、水彩画家の田村まさよしさん（本名：田村正義さん）が４月６日、市役所を訪れ津谷市長に発刊を報告し、市に同画集３冊を寄贈しました。

画集は、内陸線の各駅舎や沿線風景などを水彩画で描き、それに文章を加え、画文集として発刊したものです。

田村さんは「十二段トンネルの紅葉は素晴らしく、紅葉が山を駆け上っていくような感じがした」などと沿線の魅力を話しながら、画集の内容を説明しました。

津谷市長は「田村さんが描く内陸線の沿線は、普段の駅舎の姿や、見慣れている風景など、沿線の素朴な魅力なども紹介されている。内陸線と市のＰＲにもなり大変ありがたい」とお礼を述べました。

最後の１年生が高校生活をスタート

●市立合川高等学校入学式

▲最後の入学式が挙行され、61人の新入生が入学した合川高校

市立合川高等学校（齊藤和彌校長、生徒数１６６名）の入学式が４月６日、同校の体育館で挙行され、61名の新入生が期待と希望を胸に高校生活をスタートしました。

入学式では、保護者らが見守るなか、新入生が少し緊張した表情で整然と入場。新入生点呼のあと、齊藤校長は「本校は来年度に市内３高校と統合し、新たな高校として生まれかわる。新入生には、本校の良き伝統の継承者、良き伝統の創造者となってほしい」などと式辞。

このあと、新入生を代表して長岐拓（ひろし）さんが「学校の名誉を汚すことなく、これから始まる高校生活で自分の目標や夢を実現するために日々努力し前進したい」などと誓いの言葉を述べました。